

職員のための「前向きな職場づくり」実践 一個の力・組織の力を活かすー

■講師

宮林 常崇（公立大学法人首都大学東京 管理部UR A室長）

修士（経済学）、民間企業を経て、平成22年4月公立大学法人首都大学東京へ入職、自己点検・評価、DP・CP策定、文科省出向、副専攻プログラムの立ち上げ、全学教務総括、キャンパス管理総括等に従事し、平成30年4月から現職。名古屋大学高等教育センターSD研究会メンバー、大学教務実践研究会事務局長、公立大学職員SDフォーラム代表等を務める。

■プログラム概要

職員対象の研修はSD義務化も追い風となり年々増加していますが、研修だけで「特定の職員に業務が偏る」などの職場の混乱が解消されることはありません。現場の混乱を解決するためには、扱う業務の量・質の変化にも耐えうる組織の構築が不可欠です。

このセッションでは、正規職員が1名しかいない職場、家庭と仕事の両立に悩むスタッフ等、現場のリアルな職場環境を前提として、「前向きな職場づくり」のために、ミドル層は何かできるか、何をすべきかを考えます。具体的には、①業務改善・②副担当の実質化・③実践的な知識の継承・④部下育成、等に必要なスキルや事例を確認し、「論理的に考えることが苦手なスタッフをどうするか」等をテーマにグループワークを行います。SD義務化の理念を実現するために、現場で何かできるかを考えるきっかけとします。

* SPODフォーラム2017『職員のための「前向きな職場づくり」入門ー実践知を可視化、活用するー』を受講していなくても、受講可能です。

■主な受講対象

主任、係長、課長補佐相当の職員

もしくは課・係単位の組織運営に課題を抱えている職員等。

■本プログラムの到達目標

1. 大学事務組織の特徴を理解し、自分の言葉でまとめることができる（例：三遊間のゴロが苦手）。
2. 課・係単位の組織改善に必要な技術を身に付けることができる。
3. 前向きな職場づくりに貢献することができる。

■日時・場所

日時：平成30年8月31日（金）10：00～12：00

場所：香川大学幸町北キャンパス